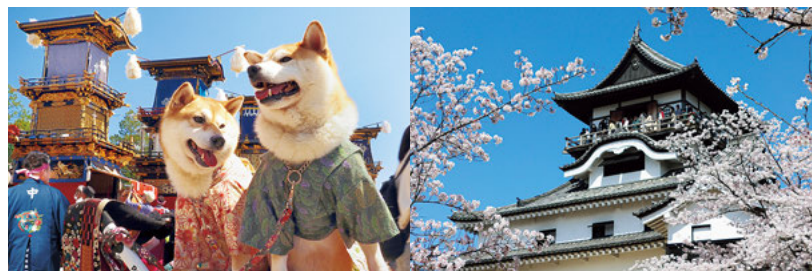




犬山市制70周年記念市勢要覧

発行：犬山市
 発行年月：2024（令和6）年3月
 〒484-8501 愛知県犬山市大字犬山字東畑36番地
 TEL：0568-61-1800（代表）
 URL：https://www.city.inuyama.aichi.jp/



やさしさ
 げんき
 さいはっけん



犬山市
ホームページ



犬山市
公式LINE



犬山市
公式Facebook



犬山市
公式X (旧Twitter)



犬山市公式YouTube
「ONE CHAN」



犬山市公式動画広報
「まるいちTV」



住むまちいぬやま
PRムービー

犬山市制70周年記念市勢要覧

INUYAMA DATA

犬山市から電車で

犬山駅→中部国際空港駅 ……約60分
犬山駅→名古屋駅 ……約30分

犬山市から車で

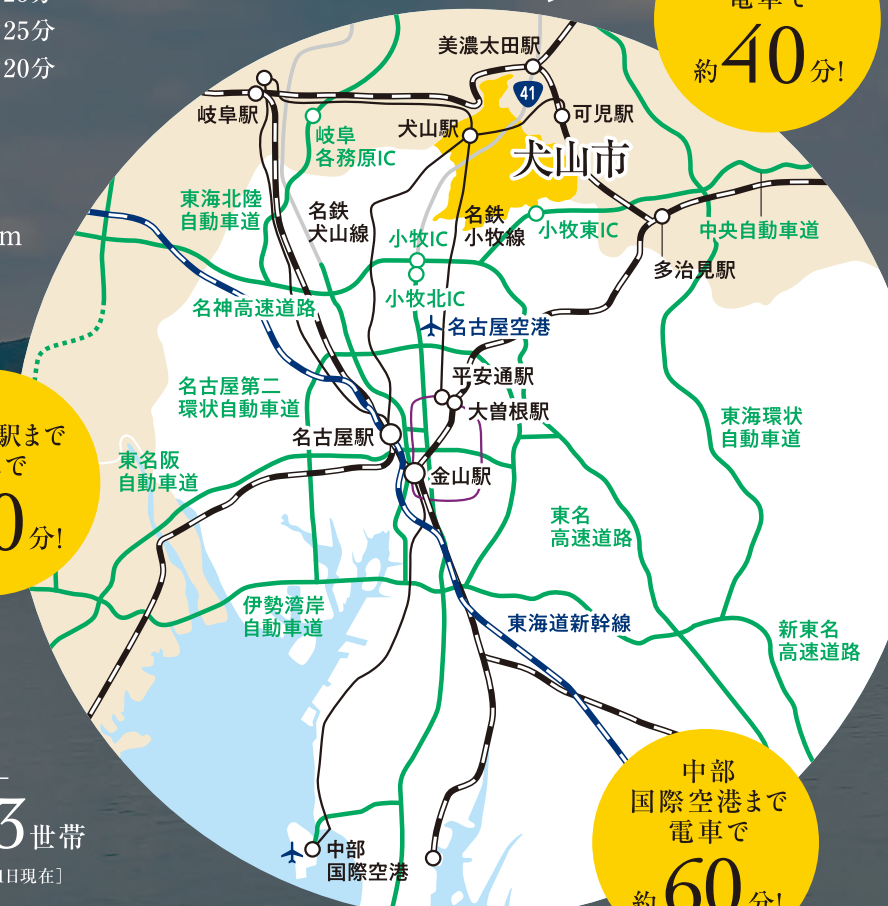
名神・東名高速道路 小牧ICまで ……約25分
名古屋高速道路 小牧北ICまで ……約25分
中央自動車道 小牧東ICまで ……約20分

面積 74.90km² 海拔 30~340m

位置 東経 136°56' 北緯 35°22'

市制施行 1954年4月1日
2024(令和6)年4月1日で市制70周年です。

人口 72,005人 [2024(令和6)年1月1日現在]
世帯数 31,893世帯 [2024(令和6)年1月1日現在]



岐阜駅まで
電車で
約40分!

名古屋駅まで
電車で
約30分!

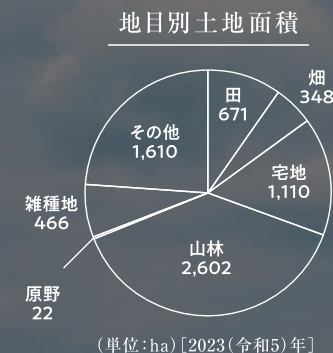
中部
国際空港まで
電車で
約60分!

年間降水量 1,673.5mm
[2023(令和5)年]

年間平均気温 16.5℃
[2023(令和5)年]

都市公園数 79ヶ所
[2024(令和6)年1月1日現在]

犬山市内7駅乗降人員
犬山口駅 ……792,600人
犬山駅 ……5,553,000人
犬山遊園駅 ……472,300人
富岡前駅 ……299,100人
善師野駅 ……570,000人
楽田駅 ……1,169,600人
羽黒駅 ……1,173,100人
[2023(令和5)年]
※100名未満は四捨五入



鉄道駅数 7駅
[2024(令和6)年1月1日現在]
犬山の年間総乗降者数 5,553,000人
[2023(令和5)年]
※100名未満は四捨五入

国宝犬山城登閣者数 582,447人
[2023(令和5)年]
木曽川鵜飼観覧者数 16,722人
[2023(令和5)年6~10月]

歴史が身近にある!

指定文化財・国登録文化財 221件
[2024(令和6)年1月1日現在]

安心して子育てできるまち!

子ども未来園
(市立保育園)数 13園
[2024(令和6)年1月1日現在]

・子ども未来園と公立幼稚園の園庭は
全園芝生化しています。
・4月入園の待機児童ゼロを毎年達成しています。
・子ども未来園と公立幼稚園、小中学校の給食は、
各園、各校の給食室で調理し、できたてを
提供しています。

私立保育園数 2園
[2024(令和6)年1月1日現在]

公立幼稚園数 1園
[2024(令和6)年1月1日現在]

私立幼稚園数 4園
[2024(令和6)年1月1日現在]

小学校数 10校
[2024(令和6)年1月1日現在]

中学校数 4校
[2024(令和6)年1月1日現在]

高等学校数 2校
[2024(令和6)年1月1日現在]

治安がいい!

近隣自治体の半数以下
交通事故発生件数 198件
[2023(令和5)年]

一般刑法犯検挙数 141件
[2023(令和5)年]

大学数 1校
[2024(令和6)年1月1日現在]

INUYAMA DATA

公共施設・行政サービス

災害への備え [2024(令和6)年1月1日現在]

災害協定等

協定等締結件数
102件

のべ事業者等数
約320事業者

避難所

指定緊急避難場所・
指定避難所 **39**か所

ペットと同室で
過ごせる避難所 **3**か所

福祉避難所 **15**か所

ここがポイント!

沿岸部より地盤が固い内陸部に位置し、**地震の被害が少ないと言われている地域**。南海トラフ地震の揺れによる建物倒壊等の想定件数は約10棟。

引用：愛知県2011～2013(平成23～25)年地震被害予測調査とりまとめ

マンホールトイレやかまどベンチを備え、災害時に指定緊急避難場所として活用できる施設(内田防災公園、羽黒中央公園)のほか、大切な家族であるペットと同室で過ごせる避難所を**愛知県で初めて導入**。

健康づくり

健康寿命 (犬山市独自算出)

男性 **79.8**歳 女性 **84.2**歳
[2019(令和元)年9月末]

要介護認定率

犬山市 **15.7**% 愛知県 **17.4**%
[2023(令和5)年3月末]

ここがポイント!

健康寿命と平均寿命の差が短く、健康で元気な高齢者が多い!
その差、男性**1.0**歳、女性**2.1**歳 [2019(令和元)年9月末]

登録すると
防災・防犯情報が届く



犬山市
公式LINE



犬山市
あんしん
メール

災害による被害に対する
支援も整備しています



◀詳細はこちら

防災ハンドブック・
ハザードマップは全戸配布



◀市ホームページでも
確認できます

地震や浸水対策には補助金・
補助制度を設けています



◀詳細はこちら

スポーツ施設 [2024(令和6)年1月1日現在]

市内公共スポーツ施設 **14**施設

ここがポイント!

日本グラウンド・ゴルフ協会の認定を受けているグラウンド・ゴルフ場や、日本サッカー協会の基準を満たすピッチサイズのサッカーコートを確認できる人工芝広場のほか、日本オリエンタリング協会公認のオリエンタリングコース等、自然を活かした民間のゴルフ場やラフティング場など**多種多様なスポーツが楽しめる施設が充実**。

ゼロカーボン

住宅省エネ改修支援(高効率給湯器設置)補助金

補助上限 **20**万円
[2024(令和6)年1月1日現在]

住宅用地球温暖化対策 設備導入費補助金

対象設備 **9**種類
[2024(令和6)年1月1日現在]

ZEB(100%)施設

1施設
[2025(令和7)年予定]

ここがポイント!

二酸化炭素排出量実質ゼロに取り組むゼロカーボンシティを2021(令和3)年に表明。公立保育園では全国2例目のZEB施設となる新子ども未来園が2025(令和7)年に開園予定。

※ZEB(ゼフ):ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(略)。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間のエネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

スポーツイベント [2024(令和6)年1月1日現在]

市内で開催されるランニングイベント **2**大会

ここがポイント!

日本陸上競技連盟の認定コース(ハーフ・10km)を走るマラソン大会と、犬山城下町を駆け抜けるランニングイベント(3km・1km)のタイプの異なる2つのイベント。**国宝のお城を眺めて走るランニングイベント**は犬山市ならではの。そのほか、スポーツでまちを盛り上げる「いぬやまスポーツコミッション」が、プロバスケットボール3X3のリーグ公式戦や東海・北信越・関西のチームによる学童軟式野球大会などを誘致。

移住・定住 [2024(令和6)年1月1日現在]

ふるさと定住促進サポート事業

同居 **60**万円 近居 **20**万円 最大 **80**万円

働き定住促進サポート事業

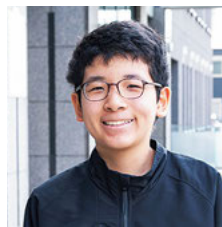
補助額 **20**万円 最大 **40**万円

ここがポイント!

犬山市での移住定住の相談や質問を**ワンストップで対応する窓口**や、住まわちの魅力や情報を集約した移住特設ウェブサイト「住まわち いぬやま」で、犬山市に住みたい方をしっかりサポート。



住まわちいぬやま
特設ウェブサイト



犬山市の“ここ”が好き

市民のみなさんが感じる犬山市の好きを紹介します

普段の暮らしや地域の活動、子育てや教育など、
一人ひとりの「好き」がさまざまなシーンで生まれています。



動画で見るいぬやま
「みんなのお気に入り編」



板津英基さん：犬山祭のお囃子が鳴ると本能的に血が騒ぎ、心が踊る感覚になります。町内が一つになり、子どもから孫まで世代に関係なく関わっていけることが犬山祭の良さであり、地域のつながりを感じることができます。

酒井博久さん：ユネスコ無形文化遺産に登録されている犬山祭、これに参加できることはうれしくもあり、誇りでもあります。伝統行事を守っていくためには、人と人とのつながりが重要。祭に関わる仲間とともに、先人からの想いを次の世代に繋いでいきたいです。

酒井彩花さん：お祭を通して絆が生まれ、地域の関わりが深く感じられるところが犬山祭の魅力です。私も地域の一員としてお祭りに参加できることを誇りに思っています。古くから繋がれてきた「犬山祭」の想いを、みんなで手を取り、この先もずっとずっと残るものにしていきたいです。

01” 繋がれていく心 犬山祭

インタビュー

いたつ 板津さん、さかい 酒井さんご家族



余坂町車山蔵

楽田城址



“02”

受け継ぎたい 地元の歴史文化

インタビュー

やまだゆうと
山田悠斗くん(写真左端)ご家族



小牧・長久手の戦いの舞台
である楽田城跡に建つ楽田
小学校の昔の様子

山田悠斗くん：ぼくは犬山城が大好きです。おばあちゃんがお城が好きで、ぼくも好きになりました。犬山城は大きくてかっこよく、何度見ても「すごいな」と思います。お城から見る景色はきれいで、犬山城下町にはりんごあめやお団子など、おいしいものがたくさんあります。

山田将央さん：犬山城下町には家族でよく出かけます。食べ歩きなどして、家族の思い出が詰まったところですよ。明治村だったり、モンキーパークだったり、昔から変わらない楽しい施設が多いことも犬山市の魅力です。

山田澄子さん：ずっと楽田に住んでいますが、地元には楽田城というお城の跡が残っています。他にも犬山市には小牧・長久手の戦いの舞台になった場所があり、歴史的な資源がたくさんあるので、孫達と一緒に学んでいきたいです。大好きな犬山市の歴史や文化を子どもや孫に受け継いでいきたいと思っています。

想像以上の 住み心地の良さ

インタビュー

おかちよしひろ
岡地芳弘さん

03”



犬山駅東口



新郷瀬川 鮎見橋

犬山市には、2023(令和5)年5月に引っ越してきました。移住してまだ日が浅いですが、住んでみて想像していた以上に住み心地がいいと感じています。

犬山駅まで徒歩10分圏内に住んでいますが、近くには山々が並び、遊歩道が整備された木曽川や新郷瀬川が流れ、日課の散歩で四季を感じることができますし、国宝犬山城や犬山城下町、犬山成田山など、歴史文化がまちに溶け込んでいて、まさに風光明媚。自然に加え、ほどよいまち感で便利さも兼ね備えた住みやすさが、まさに求めていた場所です。

また、市内に鉄道の駅が7つもあり、高速道路のICも近く、どこへ行くにも非常に便利。さまざまな場所で活躍している仲間が集う場所としても最適で、歴史や情景も相まって仲間も犬山市に居心地の良さを感じているようです。

私はジューク・オカヨシという名で音楽活動をしています。いつか、仲間とともに音楽を通じてまちを盛り上げることが私の夢です。



犬山成田山
(成田山名古屋別院大聖寺)

犬山市の“ここ”が好き



対岸から見た栗栖

“04”

自然豊かな 栗栖が好き

インタビュー

しばたちお
柴田知緒さん(写真後列右から6番目)

栗栖は自然が豊かで、たくさんの虫や動物が山に住んでいます。小学校の周りも自然がたくさんあるので、より身近に感じます。

私は地域の人たちと関わることが大好きです。栗栖では、輪投げなどのミニゲームをしたりして地域の人と交流する機会があります。そこは、たくさんの人と笑い合うことができる場所だと思います。周りの人が笑顔だと自分も楽しくなり、自然と笑顔になります。地域の人と交流するときに心がけていることは「あいさつ」です。元気にあいさつ

することで、コミュニケーションがとりやすくなり、相手との仲が深まります。

これからは栗栖の自然を生かして、地域の魅力をたくさんの人に伝えていきたいです。地域の人と関わりながら、虫や動物を守り、今以上に自然を豊かにする活動をしたいです。



栗栖公民館

先祖代々、木曽川河畔に住み続けてきました。木曽川は、古くから水運や舟運によって流域の経済を潤してきた重要な河川であり、その景観の美しさは今も昔も変わらず、四季折々に私たちを楽しませてくれます。

そんな木曽川河畔の空間整備に向けた対話の場として「河畔 de カタリーヴァ」があります。河畔が市民の「憩いの場、活躍の場」となるよう、地元の住民などが集まり、河畔の未来を語り



昔の犬山橋付近

05”

河畔空間の 未来を語り合う

インタビュー

かわむらたけし えいこ
川村武志さん、英子さん親子

合っています。川沿いの遊歩道を活性化させて地元の人とふれあい、くつろぎながら観光で訪れた方にも木曽川の良さに気づいていただけるよう、活動しています。木曽川河畔が昔のようににぎわいの場となるよう、地元の住民として、すてきな河畔空間を創っていきたいです。



昔のライン大橋付近



木曽川遊歩道

犬山市の“ここ”が好き



子育てがひと段落し、自分の時間に何か始められることはないかと探していたとき、『広報犬山』で体験を目的とした犬山市スポーツ協会主催のスポーツスクール事業「弓道初心者教室」があることを知り、参加したことが弓道を始めたきっかけでした。教室に通っている人は老若男女、年齢もさまざまですが、「弓道をしたい」という共通の

仲間が集まっていました。ここでしかない出会いや交流があり、弓道を通して多くの人とつながることができ、貴重な時間を過ごしています。

「スポーツができる環境がある」「スポーツを身近に感じることができる」というのは犬山市の大きな魅力です。幅広い世代がスポーツできる、自分も新しいことにチャレンジできる。これからも興味のあるものを見つけたら、積極的に取り組んでいきたいです。

“06” スポーツで 新たな一歩を

インタビュー

(左から)
あかぎ 赤木さん、いとう 伊藤さん
たかはし みやもと 高橋さん、宮本さん



07” 茶華道で 文化とつながる

インタビュー

かわしま はやと 川島 隼さん(写真右端)

2年前の小学4年生から、犬山市文化協会茶華道部の先生が開いている教室に通っています。作法を覚えたり、季節によって異なる道具の使い方を覚えたりするのが難しいですが、さまざまな人と出会えることが楽しいです。お茶会では、先生のお弟子さんたちと話すことができ、掛け軸やお花の意味、ルーツなどを話すことがおもしろいです。まだまだ知らないこともたくさんあるので、茶華道の奥深いところをもっともっと知りたいです。また、茶華道を通して人とのつながり方や接し方

を学んでいます。目上の方との話し方などもお稽古を通じて学べているので、どんな人とも話せる力が身についたように感じています。

犬山市には、犬山城以外にも掘り起こすことができる歴史や文化がたくさんあると思います。国宝の茶室「如庵」もあるので、茶華道の文化がもっと広がってほしいと思います。



1935(昭和10)年
国宝指定



国宝犬山城

犬山城は室町時代の1537(天文6)年、織田信長の叔父・信康が築城しました。現存する日本最古の木造天守で、天守最上階からは濃尾平野を一望できます。信長・秀吉・家康が犬山城を手にし、天下人への道をひらきました。

世界に誇る 犬山市の宝

犬山市には二つの国宝をはじめ
歴史や伝統文化、自然景観など
世界に誇れる資源があります。
ふるさとの誇りを守り、
後世へと受け継いでいきます。

1936(昭和11)年
国宝指定



画像提供:名古屋鉄道株式会社

国宝茶室 如庵

如庵は織田信長の実弟で茶人の織田有楽斎(うらくさい)が建てた茶室で、現存する国宝茶席三名席の一つ。茶道文化史上貴重な遺構で、1618(元和4)年に京都建仁寺に建立された後、東京麻布、神奈川大磯を経て、織田家ゆかりの犬山市に移築されました。

2016(平成28)年
ユネスコ
無形文化遺産登録



犬山祭

江戸時代から続く針綱神社の祭礼。県の有形民俗文化財に指定されている3層の車山13輦が犬山城下町に繰り出し、笛や太鼓に合わせてからくり人形を披露します。満開の桜の中を練り歩くさまは絢爛豪華です。

2015(平成27)年
世界かんがい施設
遺産登録



入鹿池

飛騨木曽川国定公園内にある人工の農業用ため池で、全国最大規模の大きさを誇ります。ワカサギ釣りやブラックバス釣りのスポットとして人気があり、多くの釣り人が訪れます。また、レンタルボートでは湖畔に広がる四季折々の風景を堪能できます。



木曽川鵜飼

鵜飼は、鵜舟に乗った鵜匠が鵜(海鳥の一種)を訓練し、川魚を捕らせる古代漁法で、1300年の伝統があります。ライトアップされた国宝犬山城を背景に、幻想的な歴史絵巻が目の前で繰り広げられます。全国に先駆けて「昼鵜飼」を実施しています。



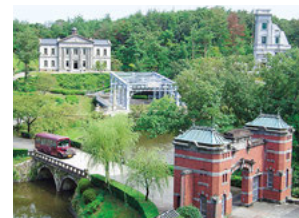
公益財団法人 日本モンキーセンター

霊長類学の研究者が中心となって設立された、世界に類を見ない動物園・博物館です。緑豊かな犬山市の丘陵地帯に位置し、世界中の霊長類50種以上、約700頭が、緑に囲まれてのんびり暮らしています。



スタッフ 阪倉さん

私のおすすめはリスザルの島!まるで森の中で野生のボリビアリスザルを探しているような気分を味わえます。写真が撮りやすい場所なので、カメラをお持ちの方はチャンスですよ!みなさまの“ご来猿”をスタッフ一同お待ちしております。



博物館 明治村

明治建築を中心に移築・保存する野外博物館。明治時代に製造された蒸気機関車、京都市電の体験乗車や、明治時代風の衣装で記念撮影や散策をすることができます。



野外民族博物館 リトルワールド

世界各地から集められた民族資料を展示した本館展示室と23ヶ国32の家屋が立ち並ぶ野外展示場で構成された野外博物館。世界の文化を五感で体験できます。

犬山市の“ここ”が好き

犬山ひばりヶ丘公園

推しポイント!

多子多胎世帯には
犬山産のお米が
年1回届きます!



結婚を機に犬山市に移住し、知り合いもいない中で子育てがスタートしたのですが、市の児童センター「子育て広場ぼんぼこ」に子どもと通い、ママ友がたくさんできました。児童センターはアットホームな雰囲気、居心地が良く、いつも行くのが楽しみです。地域活動クラブが開催している子育てサークルにも参加しました。子育てを通して私自身の人脈が広がったように感じています。子どもたちも児童センターなどで友だちができうれしそうにしていますし、親同士でも情報を共有することができ、とても心強いです。

市の「多子多胎世帯子育て支援事業」も利用しています。お米やおむつといった、その時々で必要なものが支給されます。また(3人目以降)中学生までの給食費が無料になり、養育費の面でとても助かっています。

犬山市は子育て支援制度が充実していて、どの年代の子どもがいる家庭でも安心して子育てができるまちだと思います。



“08”

子育て支援が充実

インタビュー

たていし
立石さんご家族

子ども未来園は安心して預けられる存在

インタビュー

たわだ
多和田さんご家族



09”



一人息子で初めての子育てです。市内の子ども未来園を利用しています。先生方がやさしく、親身で手厚く子どもをみてくださっています。犬山市の開放的な自然の中、のびのび過ごさせているなど日々感じています。園では、ただ遊ばせているだけでなく、学びを大切にしていると感じます。例えば、節分であれば「なぜ豆まきをするのか」など、その由来から教えてくださるので、子どもの記憶に残り、学びにつながっているようです。

住んでいる地域に伝統的なお祭りがあり、地域の人とのつながりを深く感じています。ご近所の方はみんな我が子のように、子どもを可愛がってくれます。そんなところが安心感や住みやすさにつながっていますね。子どもには、お祭りのような地域での交流を大切に、自由にのびのびと育ってほしい。そして、犬山市の魅力に触れながら、大人になってもこのまちを好きでいてほしいです。

推しポイント!

犬山市の
子ども未来園は
全園芝生化
しています!



犬山市の子育て



動画で見るいぬやま
「犬山市の子育て」

「安心して子育てをしたい」「心豊かな子に育ってほしい」そんな想いに応えられるのが犬山市の子育て環境です。妊娠・出産・子育て期のさまざまな不安や疑問に対応し、子育てをサポート。こども家庭センターの相談事業をはじめ、妊娠期から出産後までをきめ細やかに支援するパパママ教室や妊婦家庭への訪問、子育て応援アプリ、働く親にも安心な子ども未来園（保育園）など、子育て世代がいきいきと子どもを育てられる環境が整っています。

**MaMa
たす** 子育て応援アプリ
「MaMaたす」

子どもの成長記録や予防接種のスケジュールなどを管理できるアプリ。健診の案内やイベントなどさまざまな子育て情報も提供されます。



App Store



Google Play



子ども未来園（保育園）

主体的な遊びを通して子どもたちの豊かな心や考える力の基礎を育みます。自園で手作りしている給食は温かく、アレルギーに対応できます。



一般不妊治療/特定不妊治療費の助成

一般不妊治療・特定不妊治療に必要な費用の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減や少子化対策の充実を図っています。



子ども医療費の助成

子どもがケガや病気をしたときでも、安心して医療機関などへの受診ができるよう、18歳の年度末まで通院や入院医療費自己負担分の全額を助成しています。



多子多胎世帯子育て支援事業

3人以上の子どもがいる家庭や双子などの多胎児がいる家庭に対して、妊娠期から中学校卒業まで、子育てを継続的に支援しています。



すくすく♡ いぬまる

妊娠・出産・子育て期にわたり切れ目のないサポートをするために、子育て世代のみなさんのさまざまな疑問・相談に保健師や助産師が対応しています。



出産・子育て応援給付金

出産育児用品の購入や子育て支援サービスの利用などにかかる経済的負担の軽減を図るため、出産・子育て応援給付金を給付しています。

多子多胎世帯子育て支援事業の一例

- ✓ 犬山産米(10kg)を年1回秋頃に提供(対象の子どもが中学卒業まで)〔多子・多胎世帯〕
- ✓ 育児用品(おもつなど)を2か月毎、1歳まで宅配〔多子世帯〕
- ✓ 家事援助などを行うヘルパー派遣事業〔多子・多胎妊婦、多子・多胎世帯〕
- ✓ 既存の移住・定住補助金に20万円上乘せ〔多子世帯〕
- ✓ 第3子以降の給食費(中学3年生まで)と保育料(3歳未満児)を無料化〔多子世帯〕
- ✓ わん丸君バス乗車料金の無料化(対象世帯員が利用する場合)〔多子世帯〕
- ✓ 第3子以降の放課後児童クラブ利用手数料を無料化〔多子世帯〕

など

多子世帯: 3人以上の子どもを持つ家庭で第3子以降の子が中学生以下の世帯
多胎世帯: 双子以上の子ども(中学生以下)を持つ世帯

犬山市
多子多胎世帯
子育て支援事業について
より知りたい方は
こちらの二次元コードから



犬山市ホームページ



給食を通して、
さまざまな食べ物や料理に
親しんでもらえるように
しています。
いつもたくさんおいしそうに
食べてくれてありがとう！

“10

自校式で おいしい給食

インタビュー

みよかわ かい
三代川嘉似さん

学校の給食はとてもおいしくて、たくさんおかわりします！給食室で調理されているので作りたて、ほっかほかで大好きです。4時間目になると給食室の方からいいにおいがしてくるんです。休み時間には毎日欠かさず今日の献立表を見に行きます。友だちのみんなも給食が大好きで、一緒に献立を見に行くのが楽しいです。地域の伝統的な料理が献立に入っていたり、季節や行事に合わせてデザートがついたりして、毎日とても楽しみです。

給食は、調理員さんが愛情を込めて一生懸命作ってくださっています。給食当番で食器を返しに行くときは、「ごちそうさまでした。ありがとうございました！」とあいさつしています。すると調理員さんも「ありがとう！」と返してくださるので、ぼくもとてもうれしい気持ちになります。これからも給食をたくさん食べて「おかわり王」になります！



犬山市が実施している「子ども大学」は、学校が休日の土曜日や日曜日に講座があつていろいろな体験ができます。僕はこれまでに、子ども大学でのインタビューを集めて動画にする「動画クリエイター講座」や、はんだ付けでゲームの基盤を作る「電子工作講座」に参加しました。ゲームやYouTubeが好きで、動画制作に興味があり、やってみたいと思ったんです。

講座では他の学校に通う生徒と友だちになれました。10人ぐらいで一つのチームになり、動画制作を進めたのですが、チームワークを養いながら



11”

多彩に学べる 子ども大学

インタビュー

あきもと はると
秋元陽翔さん

楽しく制作し、最後はみんなで作った動画を発表することができました。「チームで動く」という力が身につき、今後役に立つと思います。講座を受けたあとは、自主的に動画制作にも取り組み、スクラッチ（プログラミングソフト）を使ってみたりもしました。将来はプログラミングに関係する仕事に就きたいと思っているし、そのきっかけをつくってくれた講座に出会えて感謝しています。



犬山市の教育

子どもたちがあらゆる体験を通じて豊かな「心」と未来を切りひらく「力」を養っていけるよう、犬山市では様々な取り組みを展開しています。子ども主体の学びの創造を目指して「少人数学級」を実施。個に応じたきめ細やかな「少人数授業」や「チーム・ティーチング（複数の教師で1クラスを担当）」に取り組んでいます。英語の分野では英語講師に外国人を採用し、理科・社会では市独自の副教本を作成しています。また、自ら学び続けることができる生涯学習の場「子ども大学」や「犬山市民総合大学敬道館」を開催。子どもから大人まで、誰もが楽しく学び活躍できるまちを目指しています。

放課後児童クラブ

市内全ての小学校区に開設しているので、就労などで放課後保護者が家にいないご家庭も安心です。県平均よりも利用料が安く、また第3子以降は利用料が無料です。



少人数学級・少人数授業・TT

市内全ての小・中学校において1学級35人以下の少人数学級を実施しています。その中でさらに、小学校の算数、中学校の数学・英語では、学級を2つに分けて少人数授業を、小学校の理科・英語では、専門性を持った教師と担任（教科担当教師）が協力してチーム・ティーチングの授業を行っています。



子ども大学

学校や家庭では得られない「挑戦・体験・感動」をテーマに開催している「子ども大学」。犬山市の自然について学ぶ講座や、お茶・お花、俳句教室、工作などの様々な講座に毎年たくさんの子どもたちが参加しています。「農業学部」では、子どもたちが実際に田植えや稲刈り、桃やみかん、サツマイモの収穫を体験します。



読解力の向上

全ての教科に「読む・書く・聞く・話す」を意識した教育を取り入れ、読解力の向上に努めています。単なる知識の詰め込みではなく、「正しく、豊かな読解力」を身につけ、自ら学ぶ力を身につけた感性豊かな子どもの育成を目指しています。市立図書館には、本に親しむ環境を整備するために、子ども専用の読書空間「ブックキャンプ」があります。

動画で見るいぬやま
「犬山市の教育」▶



犬山市民総合大学敬道館

「いつでも」「どこでも」「誰でも」自ら学ぶことができる生涯学習講座を開催しています。『一般教養学部』として「教養講座」「博物館講座」、『専門学部』として「文学部」「歴史文化学部」「健康学部」「環境学部」「スポーツ学部」「グローバル学部」を開設。多彩な講師による魅力的な講座により、感性豊かな人づくりに取り組んでいます。



あたたかくて おいしい給食

市内全ての小・中学校と子ども未来園、公立幼稚園では、各校・園の給食室で調理をし、できたての給食を提供しています。地元の野菜などを取り入れた料理、季節や行事に合わせた献立、子どもたちのアイデアから生まれたオリジナルメニューなど、給食が楽しみのひとつになります。





私は、子育てに関わる女性たちの自己実現を応援したり、子どもと大人と一緒に体験しながら学ぶ場づくりや、地域での活動に関するサポートなど、多くのご縁を頂いて、活動しています。

これまでの市民活動を振り返ると、最初は個人の想いから始まっても、その想いを周囲の人々に伝えていくことで、同世代だけでな

く世代を越えた仲間も増えてきました。共にアイデアを出し合う中で、一人では思いもなかった選択肢から可能性が広がり、今日に至っています。

市民活動は、まちに対する「あったらいいな」「できたらいいな」という想いを、ただ待つのではなく、一個人の立場からでも、仲間と共に立ち上げ、自分たちで行動を起こすことができる活動だと実感しています。犬山市は市民活動の歴史が長いと聞いており、そのおかげで活動を応援し合う土壌があります。周囲の何かのため、そしてこのまちで暮らす“自分たち”のために、「やってみたい」と少しでも思うことがある方、一緒に一歩を踏み出してみませんか。

“12

想いがつながる 市民活動

インタビュー

さそりりさ
佐曾利吏佐さん



13”

世界に羽ばたく 若い力

インタビュー

みやざとたかき
宮里孝希さん



小学生だった2014（平成26）年からロボカップジュニアへ出場しています。当初はサッカー競技をやっていましたが、2022（令和4）年にレスキュー競技に転向、2023（令和5）年に全国大会で優勝し、日本代表として世界大会にも出場しました。

小学校低学年の頃、市立図書館で行われたモーターを使った電子工作のワークショップがきっかけでものづくりに興味を持ち、そこからロボカップジュニアに出会いました。ロボカップジュニアは、19歳以下の選手が作ったロボット（自分で考えて動く自律型ロボット）の性能を競う国際的な競技会です。大会当日ギリギリで改造することもあり、最善に向けて粘る精神や忍耐力は競技を通じて相当身についたと思います。技術力よりもっと本質的なものが身に付くのが、学校

での講義と競技ロボットの大きな違いだと感じています。

直近の目標は、ロボットクリエイターとして世界大会で上位入賞すること。そしてロボカップジュニア引退後も、分野の発展と次の世代の育成のために競技に関わりたいと思っています。将来的には、高度化するデジタル技術とそれを使う人たちの橋渡しの存在として、人に寄り添った仕組みや社会づくりに貢献していきたいです。



犬山市 70年のあゆみ

～1959

- 1954(昭和29)年 4月 市制施行
真野幸太郎氏初代市長に就任
6月 犬山市観光協会発会
7月 「広報犬山市」創刊
1955(昭和30)年 5月 旧市庁舎完成
1958(昭和33)年 4月 岡部益衛氏市長に就任



当時の下本町商店街
1957(昭和32)年



ライン大橋の建設
1959(昭和34)年

1980～1989

- 1983(昭和58)年 3月 中華人民共和国
湖北省襄樊市(現:襄陽市)と
友好都市提携
1984(昭和59)年 4月 犬山市民憲章制定
1985(昭和60)年 9月 平和都市宣言



当時の犬山駅
1956(昭和31)年



犬山祭ユネスコ無形文化遺産に登録
2016(平成28)年



入鹿池
世界がんがい施設遺産
登録記念碑除幕式
2016(平成28)年

2010～2019

- 2010(平成22)年 4月 田村淳氏犬山観光特使に任命
2011(平成23)年 3月 犬山城下町地区の道路美化
2013(平成25)年 6月 子ども未来園の園庭を芝生化
2014(平成26)年 2月 大韓民国慶尚南道咸安郡と姉妹都市提携
4月 兵庫県篠山市(現:丹波篠山市)と姉妹都市提携
6月 「健康市民づくり」宣言
12月 山田拓郎氏市長に就任
2015(平成27)年 10月 入鹿池が世界がんがい施設遺産に登録
2016(平成28)年 12月 犬山祭が全国33件の「山・鉦・屋台行事」の一つとして
ユネスコ無形文化遺産に登録(現地時間11月30日)

1960～1969

- 1964(昭和39)年 8月 衛生都市宣言
1966(昭和41)年 8月 明るい青少年都市宣言

- 1991(平成3)年 9月 ゆとり創造都市宣言
1992(平成4)年 4月 犬山商工会議所創立
6月 ドイツ連邦共和国
ラインラント＝プファルツ州
ザンクト・ゴアルスハウゼン市と
友好都市提携
1994(平成6)年 4月 名誉市民に成瀬正俊氏
1995(平成7)年 4月 石田芳弘氏市長に就任

1990～1999



ツインブリッジ開通
2000(平成12)年

- 2000(平成12)年 8月 宮崎県日南市と姉妹都市提携
9月 名誉市民に谷口清太郎氏
2001(平成13)年 1月 新成人主催による「新成人の集い」スタート
2月 アメリカ合衆国カリフォルニア州
デービス市と姉妹都市提携
4月 市公式キャラクター「わん丸君」デビュー
2002(平成14)年 6月 環境で輝くまち犬山宣言
2003(平成15)年 3月 家庭動物愛護のまち犬山宣言
2004(平成16)年 10月 名誉市民に河合雅雄氏
2006(平成18)年 12月 田中志典氏市長に就任
2009(平成21)年 11月 現市庁舎完成

2000～2009



現市庁舎完成
2009(平成21)年



東京2020オリンピック聖火リレー
2021(令和3)年

- 2021(令和3)年 4月 犬山城下町で
東京2020オリンピック聖火リレー
を実施
2022(令和4)年 12月 原欣伸氏市長に就任
2023(令和5)年 10月 遼河はるひ氏犬山観光特使に任命

2020～

1970～1979

- 1971(昭和46)年 4月 小島清三氏市長に就任
1973(昭和48)年 10月 富山県中新川郡立山町と
姉妹都市提携
1974(昭和49)年 4月 市の木(カナメモチ)、
市の花(サクラ)を制定
1979(昭和54)年 4月 松山邦夫氏市長に就任